

特殊報

奈良県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予察特殊報

- 病害虫名 タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)
- 対象作物 トマト・ナス
- 特殊報の内容 本県における初発生を確認
- 発生地域 奈良県中部～東部地域
- 発生確認の経緯
 - 令和元年5月上旬に奈良県東部地域のトマト、中部地域のナス、トマトで、葉を食害しているコウチュウ目成虫の発生を確認しました。
 - 神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本県では未確認のタバコノミハムシと同定されました。
- 分布と生態
 - 本種は北アメリカおよび中央アメリカに分布し、1980年代以降にヨーロッパにも分布を拡大しています。タバコ、ナス、ジャガイモ、ホオズキ等のナス科植物を寄主とし、アメリカ合衆国ではタバコの重要害虫とされています。
 - 国内では平成23年に関東地域の1都6県で発生が確認されました。その後、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、大分県、新潟県からも発生が報告されており、ナス、トマト、ジャガイモ、ホオズキでの被害が確認されています。また、雑草のワルナスビへの寄生も確認されています。
 - 卵は地表に産み付けられ、幼虫は地下部を食害し、地表部付近で蛹化すると報告されています。
 - 国内での詳細な生活史は明らかではありませんが、関東地方では5～11月に発生すると報告されています。
- 形態と被害
 - 成虫は体長1.5～2.5mm、長楕円形でやや扁平であり、上翅は密な短刺毛に覆われています。体色はやや光沢のある赤褐色で、中央部に不明瞭な黒斑があります（写真1）。
 - 成虫は葉の片側の表皮を残して葉肉を食害したり、葉を貫通して食害したりするた

め、直径1～2mm程度の多数の小さな白い斑点状の食害痕や丸い穴が観察されます
(写真2、3)

8. 防除対策

- (1) 令和元年5月現在で、本種に対する登録農薬はありませんが、主に有機栽培や減農薬栽培のほ場で発生するとされており、本県での発生確認ほ場でも被害程度は軽微な事から、慣行の薬剤防除を行っているほ場で被害が拡大することはないと考えられます。
- (2) 栽培終了後の分散を防止するため、残渣を速やかに処分して下さい。



写真1. タバコノミハムシ成虫



写真2. トマト葉の食害痕



写真3. ナス葉の食害痕

●お問い合わせは

奈良県病害虫防除所 TEL. 0744-47-4481

●その他の情報

病害虫防除所ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/nara/>

奈良県農業情報システム(農作物病害虫・雑草防除指導指針)

<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/nara>